

卷頭言

Foreword

常務執行役
CTO（技術戦略担当）
防衛・宇宙システム事業本部長

佐藤智典



新年あけましておめでとうございます。

平素から“三菱電機技報”をご愛読いただき、誠にありがとうございます。新たな年を迎えるにあたり、皆様に最新の技術情報を届けできることを大変光栄に思います。

三菱電機グループは、更なる事業発展と社会・環境課題の解決に向けて、リスクを恐れず新たな発想で価値を創出する“イノベーティブカンパニー”へと変革を進めています。私たちの強みであるコンポーネント技術とデジタル技術を融合させ、基盤技術を深化させることで、持続的な事業成長をけん引する研究開発を推進します。

“循環型 デジタル・エンジニアリング企業”として、デジタル基盤“Serendie”（セレンディ）を活用し、現場や顧客から得られるデータを集約・解析し、デジタル技術を継続的に高度化することで、製品やシステムの効率性や安全性を高めるとともに、新たなビジネスモデルやサービスの創出を図ります。さらに、社会や事業に大きなインパクトを与えるフォアサイトテクノロジーの研究開発に注力し、社会課題の根本的な解決と革新的な価値創出に挑戦します。

グリーン社会の実現に向けては、機器の省エネルギー化・電動化、次世代パワー半導体や光デバイスの開発、再生可能エネルギー導入拡大に貢献するエネルギーマネジメント、カーボンリサイクルなどの技術・事業展開に積極的な投資を行っています。カーボンニュートラルに加えて、サーキュラーエコノミーやネイチャーポジティブといった世界的潮流にも対応し、材料・製品の循環利用や自然共生を視野に入れた研究開発を一層強化してまいります。

AIについては、当社の強みであるコンパクトで高性能なAIを活用し、変化の激しい製造現場や保守環境で高い適応性と信頼性を実現します。少量データでも高速・高精度に推論できる技術は、自動化や作業支援を通じて現場の

負荷軽減と生産性向上に寄与します。生成AIを含む先進的なAI技術を国内外で展開し、多様な領域で価値を創出してまいります。

当社の幅広い事業分野に活用される制御、計測、パワー・エレクトロニクス、モデリング、通信、AI、システムなどの基盤技術は、長年にわたり培ってきた高度な技術力を体系的に発展させ、製造現場での精密な制御や設備の予測保全、設計工程の効率化、産業用ネットワークの自動化、環境変化の高精度検出、さらには現場データを活用したAIによる知見抽出など、製品・サービスの高度化に広く貢献しています。さらに、加工、検査、ソフトウェア設計、品質管理、信頼性、標準化などのものづくり技術は、設計・製造期間の短縮、コスト削減、品質向上、環境負荷の低減を実現し、柔軟かつ持続可能な生産体制の構築を支えています。今後も、これらの基盤技術とものづくり技術を深化・応用することで、事業競争力を強化し、持続的な成長と社会への貢献の両立を目指してまいります。

2026年1月号・2月号の“技術の進歩特集”号では、様々な社会課題の解決を通じて持続的成長を目指す最新の技術を紹介します。これらの技報を通じて、私たちの取組みや技術の進歩をご理解いただき、新たな発想や協働の機会を見いだしていただければ幸いです。そして、お客様の事業やパーカスの実現に貢献してまいります。当社グループは、“イノベーティブカンパニー”への変革を加速させ、デジタルと革新技術を駆使して、複雑化・深刻化する社会課題の解決に取り組んで、持続可能で安心・安全・快適な社会の実現に貢献してまいります。

最後になりましたが、改めまして、皆様のご健勝とご多幸、そして事業の更なるご発展を心からお祈り申し上げて、新年のご挨拶とさせていただきます。